

特別勘定（世界分散型40AF（02）/世界分散型20AF（02））

四半期運用実績レポート

2010年7月～2010年9月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年7月~2010年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2010年7月~2010年9月]

【日本株式市場】

国内株式市場は、日米企業の好決算や米国景気に対する過度な不安が後退したことが相場の押し上げ要因になったものの、欧州諸国の財政緊縮、円高の進行を受けて一進一退の展開となりました。

7月は、米企業の好決算を受け上昇して始まるも、米景気の減速懸念や円高進行を受けて大きく値を崩しました。月末にかけては国内企業の好決算を受けて買い安心感が広がり上昇しました。8月に入ると、米国を中心に景気減速懸念が強まったことや、急激な円高進行などが嫌気され株価は大幅に下落しました。その後、米国景気の先行き不安緩和と円売り介入による円高一服を好感し上昇基調を辿るものの、期末にかけては欧州での信用不安に加え、円高進行とともに軟調な動きとなりました。

業種別では、原油価格の下落や、旅客数の増加が好感された「空運業」(前四半期比+9.06%)が最も上昇した一方、公募増資に伴う需給懸念で軟調に推移した国際石油開発帝石の影響で「鉱業」(前四半期比▲18.23%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

海外株式市場は、欧州のソブリンリスク懸念再燃や世界景気の回復鈍化懸念で調整する局面もありましたが、期末にかけて企業業績に対する楽観的な見方が強まったことや、追加金融緩和期待、好調な経済指標を背景に堅調に推移しました。

米国株式市場は、2010年4-6月期決算発表に対する期待感から上昇して始まったものの、米連邦公開市場委員会(FOMC)で景気回復に対し弱気な見方が示されたことから8月は軟調に推移しました。その後、雇用統計などの経済指標が良好であったことやFOMCで追加緩和が示唆されたことを背景に期末にかけて底堅い動きとなりました。

欧州株式市場は、南欧諸国の国債入札が無難な結果となり資金繰り懸念が後退したことを受けて上昇して始まりましたが、8月に入って米国の景気後退懸念や中国の内需減速懸念が強まり調整局面を迎えました。その後、米国と中国の経済指標を好感して大幅に反発したものの、期末にかけては、アイルランドの銀行が抱える損失に対する懸念が高まり上値の重い展開となりました。

アジア市場は、中国経済の過熱感の解消を背景とした中国当局の不動産投資規制緩和と観測や、銀行自己資本規制の一部緩和などを受けて投資家心理が改善し、8月上旬まで堅調に推移しました。その後、世界景気の先行きに対する懸念から一時下落しましたが、期末にかけては中国の景気減速に対する懸念の後退により買い意欲が高まり上昇基調となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、消費者物価指数の低下や8月に発表された第2四半期実質GDP成長率速報値の事前予想を大幅に下回る結果などインフレ指標の低下や軟調な経済指標を背景に債券が買われ、日本の10年国債利回りが一時7年ぶりに0.90%を下回りました。政策面では、8月に日銀が臨時金融政策決定会合にて共通担保資金供給オペレーションによる緩和を決定したことに加え、その後、9月の政府・日銀による円売り介入の実施を受けて更なる追加緩和と政策が実施されるとの見方が強まり、債券の買い材料となりました。日本の10年国債利回りは前期末から▲0.151%低下の0.940%となりました。無担保コール翌日物は前期末から+0.017%上昇の0.113%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、個人消費の低迷や雇用環境の鈍化など軟調な経済指標が発表される中、バーナンキ米連邦準備制度理事会(FRB)議長による米景気見通しが異例なほど不透明との発言や、その後、必要に応じて追加緩和を実施する用意があると示唆したことを受けて追加緩和と政策観測が浮上り債券が買われる展開となりました。米国10年債利回りは前期末から▲0.421%低下の2.510%となりました。

欧州市場は、トリシエ欧州中銀(ECB)総裁が域内の景気動向に対する警戒姿勢を継続したことから早期利上げ観測が後退したことに加え、米大手格付会社による欧州周辺国債の格下げを背景に域内で相対的に安全と見られる独債が選好される展開となりました。英国市場は、イングランド銀行(BOE)の四半期インフレ報告において、インフレ率が目標を下回る公算が大きいとの見方を示したことが債券の買い材料となりました。独10年国債利回りは前期末から▲0.299%低下の2.278%、英10年国債利回りは▲0.405%低下の2.950%となりました。

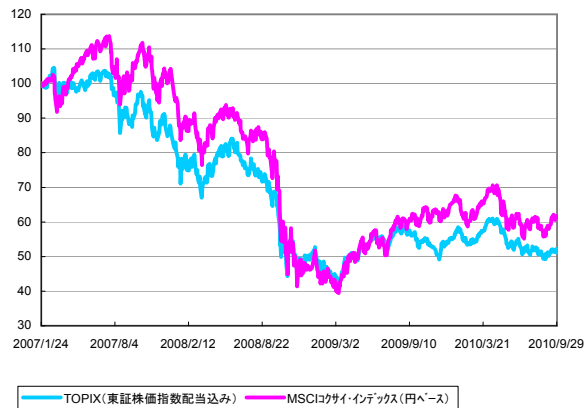
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、日本において軟調な経済指標が発表されたものの、バーナンキFRB議長による米景気の見通しが不透明との発言や追加緩和策の示唆を背景にドルが対主要通貨で弱含む展開となり、円は対米ドルで一時的に15年ぶりとなる1ドル82円台の円高水準をつきました。その後、政府・日銀による円売り介入により、期末にかけては円が対ドルでやや売り展されました。円は対米ドルで前期末から4円66銭(5.27%)円高ドル安の1ドル=83円82銭となりました。

ユーロ/円相場は、期中、欧州周辺国の財政懸念や周辺国債の相次ぐ格下げなどを受けてユーロが売られ、9年ぶりとなる1ユーロ105円台に達しました。しかしその後、米国の追加緩和と観測の高まりを背景にドルが対主要通貨で軟調となる中でユーロが買い戻される展開となりました。結果として円は対ユーロで前期末から6円43銭(5.96%)円安ユーロ高の1ユーロ=114円24銭となりました。

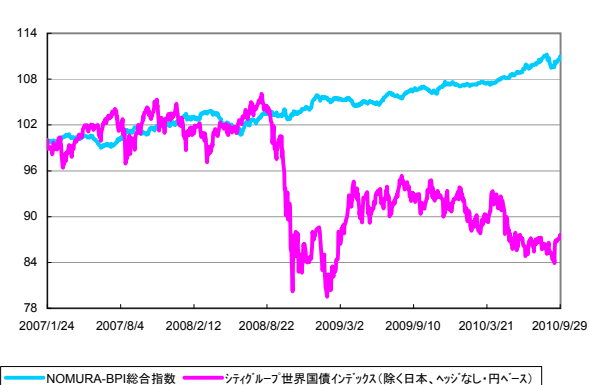
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

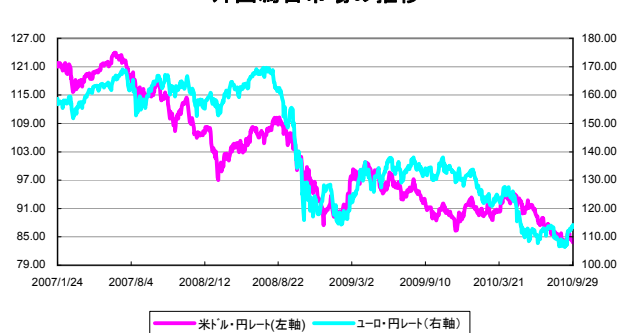
*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)

出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8

新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>

新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年7月~2010年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

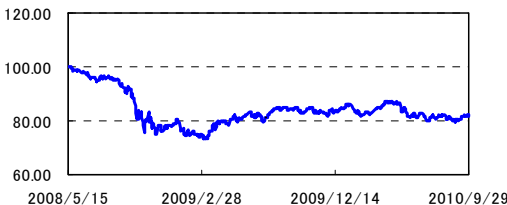
特別勘定の運用状況 [2010年9月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式20% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券30% (運用の指標: シティグループ世界国債 インデックス(除く日本、円ベース))* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の50% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
特別勘定名	
世界分散型20AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式10% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券40% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式10% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債 インデックス(除く日本、円ベース)) を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の100%について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
特別勘定名	

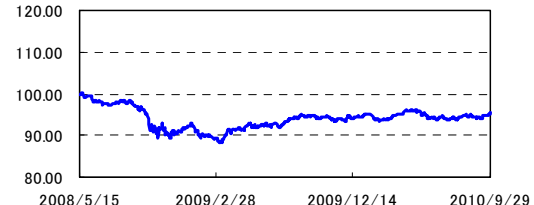
特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

世界分散型40AF(O2)



世界分散型20AF(O2)



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年5月15日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2010年9月末	81.88 過去1ヶ月 2.70%
2010年8月末	79.72 過去3ヶ月 2.07%
2010年7月末	81.52 過去6ヶ月 ▲5.02%
2010年6月末	80.22 過去1年 ▲2.44%
2010年5月末	82.10 過去3年 -
2010年4月末	86.85 設定来 ▲18.12%

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2010年9月末	95.13 過去1ヶ月 0.95%
2010年8月末	94.24 過去3ヶ月 1.56%
2010年7月末	94.35 過去6ヶ月 ▲0.45%
2010年6月末	93.66 過去1年 0.59%
2010年5月末	94.27 過去3年 -
2010年4月末	95.98 設定来 ▲4.87%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。

・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
其他有価証券	17,336,900	99.5
現預金・その他	81,186	0.5
合計	17,418,086	100.0

項目	世界分散型20AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
其他有価証券	6,850,757	99.5
現預金・その他	33,725	0.5
合計	6,884,482	100.0

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「其他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

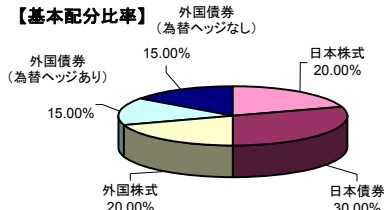
特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年7月~2010年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2010年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

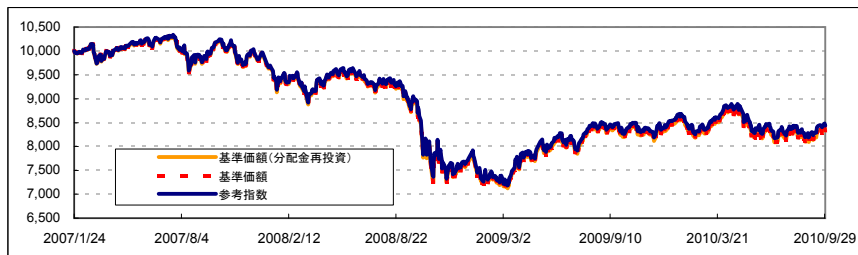
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2010年9月30日	前月末	前月末比
基準価額	8,334 円	8,097 円	237 円
純資産総額(百万円)	48,264	47,272	992

	基準価額	日付
設定来高値	10,307 円	2007年7月20日
設定来安値	7,124 円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	19.91%
日本債券	30.00%	30.05%
外国株式	20.00%	20.30%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	15.15%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	15.03%
短期金融資産	0.00%	▲0.46%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.93%	2.74%	▲3.81%	0.08%	▲16.99%	▲16.66%
参考指数	3.02%	2.86%	▲3.63%	0.50%	▲16.19%	▲15.61%
差	▲0.09%	▲0.12%	▲0.18%	▲0.42%	▲0.80%	▲1.05%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.97%
アメリカ	22.51%
イギリス	4.51%
フランス	3.96%
ドイツ	3.82%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	65.12%
米ドル	16.38%
ユーロ	9.51%
ポンド	3.35%
加ドル	1.52%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区千代田2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

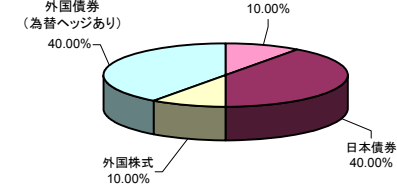
特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年7月~2010年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2010年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

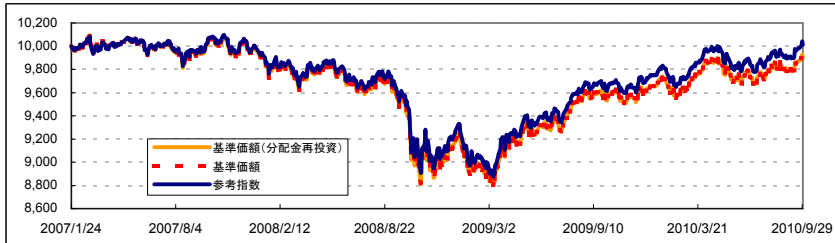
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2010年9月30日	前月末	前月末比
基準価額	9,901 円	9,787 円	114 円
純資産総額(百万円)	13,821	13,742	80

	基準価額	日付
設定来高値	10,095 円	2007年2月27日
設定来安値	8,804 円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	10.15%
日本債券	40.00%	39.82%
外国株式	10.00%	10.57%
外国債券(為替ヘッジあり)	40.00%	40.72%
短期金融資産	0.00%	▲1.26%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.16%	2.23%	0.84%	3.20%	▲0.99%	▲0.98%
参考指数	1.19%	2.28%	0.91%	3.46%	▲0.02%	0.12%
差	▲0.03%	▲0.05%	▲0.08%	▲0.26%	▲0.97%	▲1.10%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.97%
アメリカ	21.69%
ドイツ	4.50%
フランス	4.49%
イタリア	4.33%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	90.75%
米ドル	5.19%
ユーロ	1.27%
ポンド	1.15%
加ドル	0.56%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区千代田2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinsei-bank.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2010年7月~2010年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

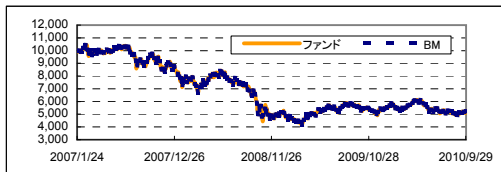
各マザーファンドの運用状況 [2010年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM): TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 111,632 百万円



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.89%	▲0.63%	▲14.44%	▲7.11%	▲45.65%	▲48.83%
ベンチマーク	3.91%	▲0.59%	▲14.45%	▲7.17%	▲45.65%	▲48.87%
差	▲0.02%	▲0.03%	0.01%	0.06%	0.01%	0.04%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,666 銘柄

1	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.56%	3.68%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.53%	2.61%
3	キヤノン	電気機器	2.24%	2.31%
4	本田技研工業	輸送用機器	2.16%	2.23%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.58%	1.63%
6	三菱商事	卸売業	1.35%	1.40%
7	日本電信電話	情報・通信業	1.31%	1.35%
8	武田薬品工業	医薬品	1.30%	1.35%
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.26%	1.30%
10	ソニー	電気機器	1.19%	1.23%
合計			18.48%	19.10%

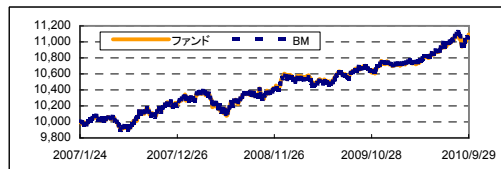
組入上位10業種

	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	14.51%	15.00%	▲0.49%
2	輸送用機器	9.72%	10.04%	▲0.32%
3	銀行業	8.92%	9.22%	▲0.30%
4	化学	5.72%	5.92%	▲0.20%
5	情報・通信業	5.60%	5.79%	▲0.19%
6	卸売業	5.04%	5.20%	▲0.17%
7	電気・ガス業	4.90%	5.06%	▲0.16%
8	機械	4.55%	4.70%	▲0.15%
9	医薬品	4.15%	4.28%	▲0.14%
10	陸運業	3.70%	3.83%	▲0.12%
合計		66.81%	69.04%	▲2.23%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM): NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 177,502 百万円



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.10%	1.09%	3.39%	3.82%	9.69%	10.83%
ベンチマーク	0.10%	1.07%	3.35%	3.86%	9.75%	10.89%
差	▲0.00%	0.02%	0.03%	▲0.04%	▲0.06%	▲0.06%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 956 銘柄

1	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第240回利付国債	1.300%	2012年6月20日	2.02%	0.55%
2	第237回利付国債	1.500%	2012年3月20日	2.01%	0.53%
3	第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.48%	0.59%
4	第63回利付国債	1.200%	2012年3月20日	1.32%	0.93%
5	第87回利付国債	0.500%	2014年12月20日	1.31%	1.16%
6	第88回利付国債	0.500%	2015年3月20日	1.31%	1.15%
7	第293回利付国債	1.800%	2018年6月20日	1.30%	0.34%
8	第90回利付国債	0.300%	2015年6月20日	1.24%	0.41%
9	第273回利付国債	1.500%	2015年9月20日	1.20%	0.64%
10	第73回利付国債	1.300%	2013年6月20日	1.17%	0.32%
合計				14.36%	6.62%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	76.10%	74.67%	1.43%
地方債	7.07%	7.13%	▲0.06%
政府保証債	4.99%	4.89%	0.09%
金融債	1.59%	1.66%	▲0.08%
事業債	10.87%	9.60%	1.27%
円建外債	0.34%	0.75%	▲0.41%
MBS債	0.90%	1.29%	▲0.40%
コール・その他	▲1.86%	0.00%	▲1.86%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.62%	0.63%	▲0.01%
平均クーポン	1.53%	1.51%	0.02%
平均残存期間	7.66	7.54	0.12
修正デュレーション	6.80	6.77	0.03

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2010年7月~2010年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

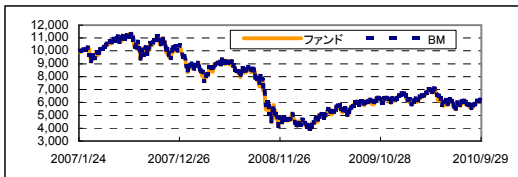
各マザーファンドの運用状況 [2010年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 133,031 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	9.32%	8.71%	▲9.42%	0.52%	▲42.62%	▲39.02%
ベンチマーク	9.35%	8.57%	▲9.47%	0.56%	▲42.34%	▲38.57%
差	▲0.03%	0.14%	0.06%	▲0.04%	▲0.28%	▲0.45%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,316 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.50%	1.56%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.25%	1.30%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.92%	0.96%
4	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%	0.93%
5	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.86%	0.89%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.83%	0.87%
7	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.83%	0.86%
8	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.83%	0.86%
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.82%	0.85%
10	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.81%	0.84%
合計				9.52%	9.93%

・ベンチマーク (BM) の比率は2010年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	10.66%	11.10%
2	銀行	8.52%	8.87%
3	素材	7.41%	7.73%
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.32%	7.63%
5	資本財	7.20%	7.51%
6	食品・飲料・タバコ	6.22%	6.48%
7	各種金融	5.25%	5.47%
8	ソフトウェア・サービス	5.12%	5.33%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.36%	4.55%
10	電気通信サービス	4.32%	4.49%
合計		66.39%	69.17%

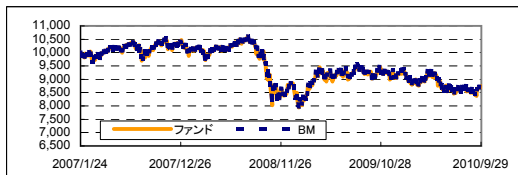
組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	51.58%	53.75%
2	イギリス	10.70%	11.14%
3	カナダ	5.43%	5.66%
4	フランス	5.00%	5.21%
5	オーストラリア	4.29%	4.48%
6	ドイツ	3.91%	4.08%
7	スイス	3.86%	4.02%
8	スペイン	1.85%	1.93%
9	スウェーデン	1.56%	1.63%
10	イタリア	1.40%	1.45%
合計		89.58%	93.34%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 230,592 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.63%	3.21%	▲4.27%	▲4.73%	▲14.44%	▲12.69%
ベンチマーク	2.70%	3.21%	▲4.24%	▲4.63%	▲14.24%	▲12.45%
差	▲0.06%	0.00%	▲0.03%	▲0.10%	▲0.20%	▲0.24%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 393 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.375%	2014年8月31日	1.23%	0.32%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2012年5月15日	1.10%	0.27%
3	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	1.00%	0.59%
4	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年11月15日	0.98%	0.25%
5	アメリカ国債	米ドル	4.875%	2012年6月30日	0.95%	0.09%
6	アメリカ国債	米ドル	11.250%	2015年2月15日	0.91%	0.08%
7	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年8月15日	0.89%	0.25%
8	ドイツ国債	ユーロ	4.000%	2012年4月13日	0.87%	0.19%
9	アメリカ国債	米ドル	4.000%	2012年11月15日	0.87%	0.15%
10	アメリカ国債	米ドル	4.625%	2017年2月15日	0.86%	0.17%
合計					9.66%	2.37%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
・ベンチマーク (BM) の比率は2010年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	39.87%	40.22%
2	イタリア	10.26%	10.30%
3	ドイツ	10.03%	10.08%
4	フランス	9.74%	9.79%
5	イギリス	7.74%	7.81%
6	スペイン	4.21%	4.25%
7	ベルギー	2.83%	2.85%
8	カナダ	2.80%	2.84%
9	オランダ	2.51%	2.53%
10	オーストラリア	1.75%	1.79%
合計		91.75%	92.47%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	2.10%	2.10%	0.01%
平均クーポン	4.23%	3.71%	0.52%
平均残存期間	8.05	7.97	0.08
修正デュレーション	6.10	6.09	0.01

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・上記の属性は2010年9月29日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2-1-8
新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0%
		特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および保証金額付特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55%
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
		特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することになります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

- ※一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%*
		年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「HALFtime+」は現在販売していません。

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区千代田2-1-8
 新生銀行ホームページ <http://www.shinseibank.com>
 新生パワーコール / (0120) 456-860

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>